

**長岡京市の環境づくりのための事業者アンケート
結果報告**

平成24年2月

長 岡 京 市

目次

1 調査概要	1
(1)調査の目的	1
(2)調査の対象	1
(3)調査の方法	1
(4)回収の状況	1
 2 調査結果	 2
問1 事業所概要	2
問2 事業所における環境保全の取組状況	5
問3 事業に直接関わりのある環境保全活動の状況	8
問4 地球環境保全への考え方	10
問5 環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度	11
問6 環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度に取組む理由	12
問7 環境への取組を進めるにあたっての課題	13
問8 地域の環境づくり活動の状況	14
問9 長岡京市の環境政策や環境活動について	17
問10 長岡京市の環境をよくしていくための事業者の役割	18
問11 環境に関する活動実施のための支援	19
問12 西山を活かした環境活動、地域資源等を活かした環境まちづくりへの関わり	20
問13 自由記述	21
 3 調査票	 22

1 調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、「長岡京市環境基本計画」の改定に向けた基礎資料として、長岡京市の環境づくりに係る事業者からの意見を把握する目的で実施した。

(2) 調査の対象

- ・長岡京市内に事業所がある70事業者

(3) 調査の方法

記名方式として、平成23年12月1日（木）～平成23年12月16日（金）を調査期間として、郵送により実施した。

(4) 回収の状況

回収数39事業所、回答率55.7%

（※宛先不明返送分4通を除くと59.0%）

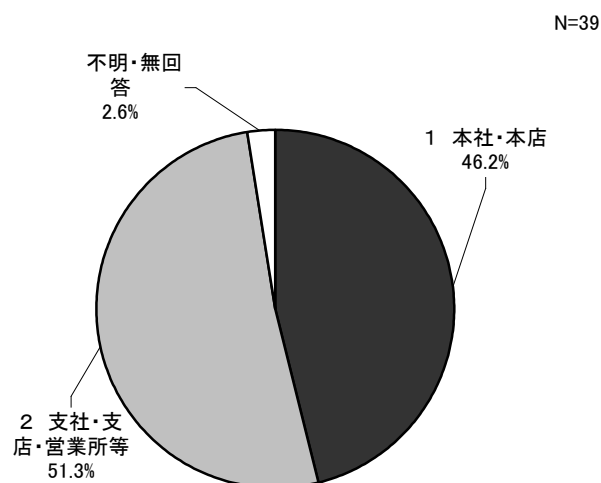
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答数（N）、あるいは当該設問の回答数（n）を基数として算出している。小数点第2位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも100.0%にならない。また、グラフまたは表内に示した記号のうち、SAは単数回答、MAは複数回答を示す。

2 調査結果

問1 事業所概要

■区分

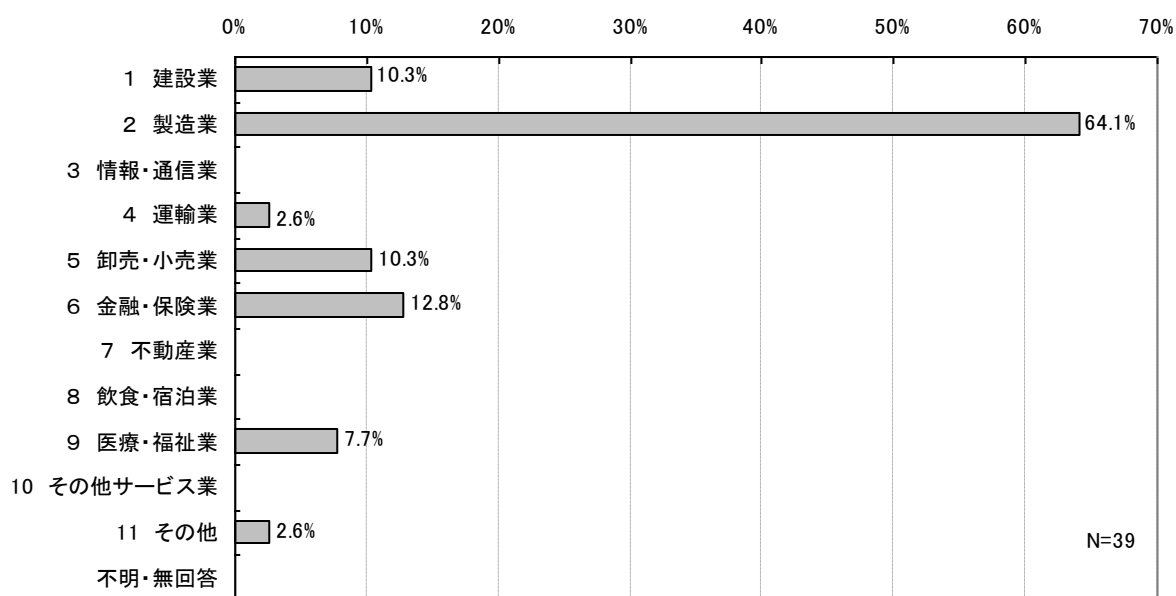
(S A)



「支社・支店・営業所等」が51.3%、「本社・本店」が46.2%となっている。

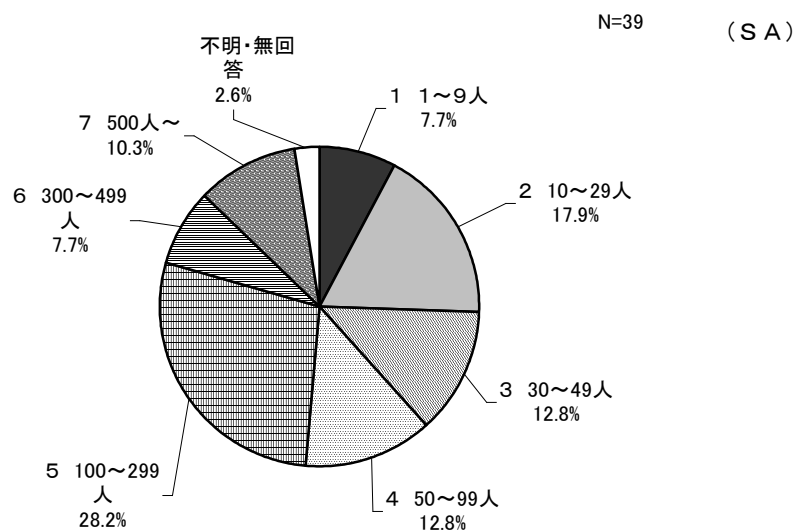
■業種

(MA)



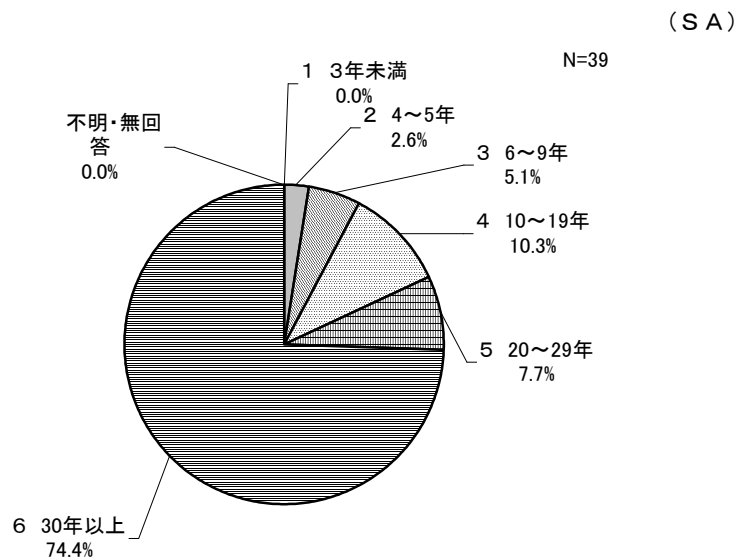
「製造業」が最も多く 64.1%となっており、次いで「金融・保険業」12.8%、「建設業」「卸売・小売業」が10.3%となっている。

■従業員数(長岡市内のみ、パート・アルバイト含む)



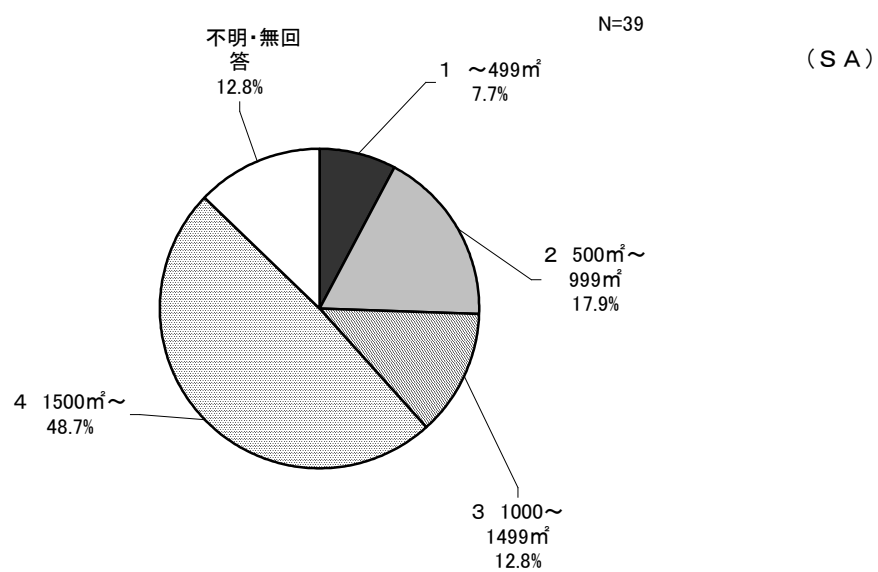
「100~299 人」が最も多く 28.2%となっており、次いで「10~29 人」17.9%、「30~49 人」「50~99 人」が 12.8%となっている。

■操業(営業)年数



「30 年以上」が 74.4%となっており、「10~19 年」10.3%、「20~29 年」7.7%、「6~9 年」が 5.1%となっている。

■事業所の床面積



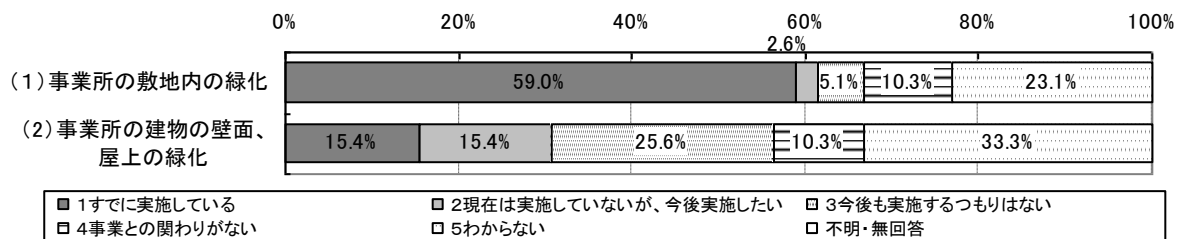
「1500 ㎡～」が 48.7%と半数近くを占めており、次いで「500 ㎡～999 ㎡」 17.9%、「1000～1499 ㎡」 12.8%、と続いている。

問2 貴事業所では、事業所内での身近な環境保全に関する取組みを実施していますか。

それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

■緑化に関する取組み

N = 39 (S A)

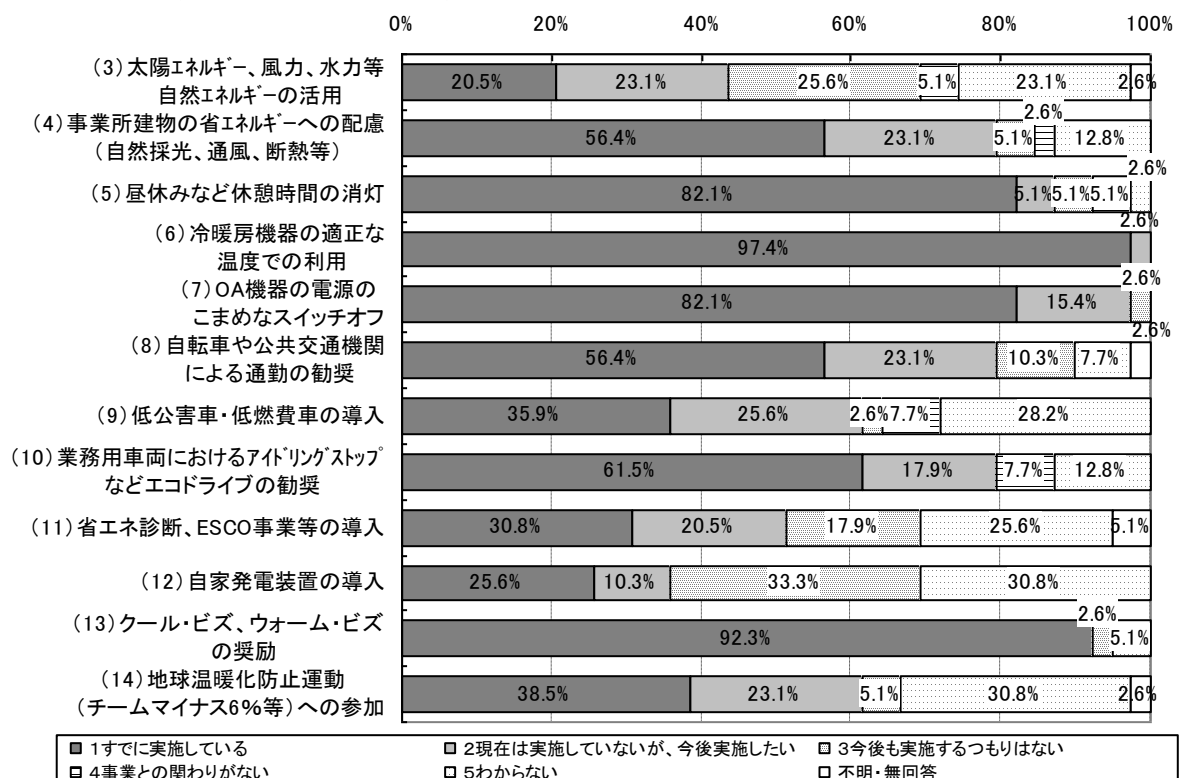


「事業所の敷地内の緑化」については、59.0%と半数以上の事業所で「すでに実施している」との回答になっている。

「事業所の建物の壁面、屋上の緑化」については、「すでに実施している」が15.4%、「現在は実施していないが、今後実施したい」が15.4%となっているが、「今後も実施するつもりはない」が25.6%となっている。

■省エネルギー・新エネルギーに関する取組み

N = 39 (S A)

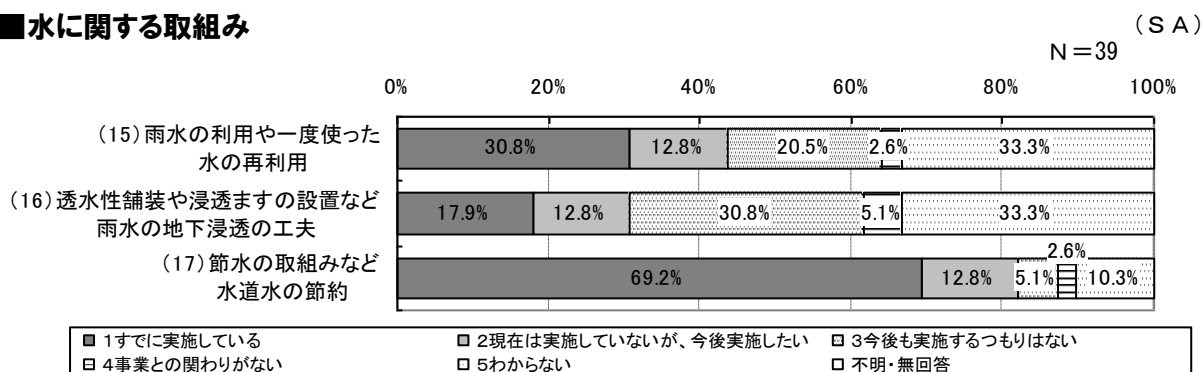


「冷暖房機器の適正な温度での利用」や「クール・ビズ、ウォームビズの奨励」については、90%以上の事業所で既に取り組んでおり、「昼休みなど休憩時間の消灯」、「OA機器の電源のこまめなスイッチオフ」についても80%を超える事業所ですでに取り組んでいる状況にある。

一方、「自家発電装置の導入」や「地球温暖化防止運動（チームマイナス6%等）への参加」、「低公害車・低燃費車の導入」、「省エネ診断、ESCO事業等の導入」については、今後も実施する意向がない事業者が30%前後になっている。

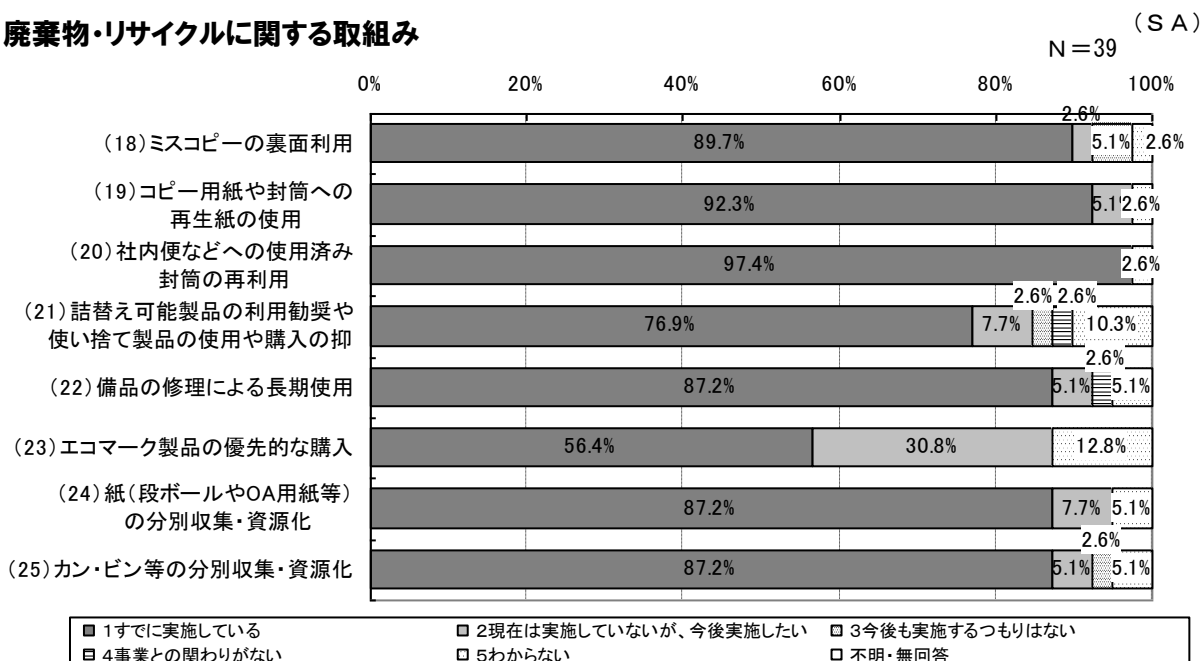
また、「低公害車・低燃費車の導入」、「太陽エネルギー、風力、水力等自然エネルギーの活用」、「事業所建物の省エネルギーへの配慮（自然採光、通風、断熱等）」、「自転車や公共交通機関による通勤の勧奨」、「省エネ診断、ESCO 事業等の導入」、「地球温暖化防止運動（チームマイナス 6%等）への参加」については、現在は実施していないものの、今後の実施意向をもつ事業者が 20%を超えている。

■水に関する取組み



「節水の取組みなど水道水の節約」については、69.2%の事業所で既に取り組んでいる一方、「透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透の工夫」、「雨水の利用や一度使った水の再利用」については 20~30%の事業所で「今後も実施するつもりはない」との回答になっている。

■廃棄物・リサイクルに関する取組み



廃棄物・リサイクルに関する取組みについては、他の取組みと比較すると、「すでに実施している」と回答している事業所が多くなっている。特に「社内便などへの使用済み封筒の再利用」、「コピー用紙や封筒への再生紙の使用」は 90%を超える事業所で既に取り組んでいるのをはじめ、「ミスコピーの裏面利用」、「備品の修理による長期使用」、「紙（段ボールやOA用紙等）の

分別収集・資源化」、「カン・ビン等の分別収集・資源化」についても 90%近くの回答となっている。

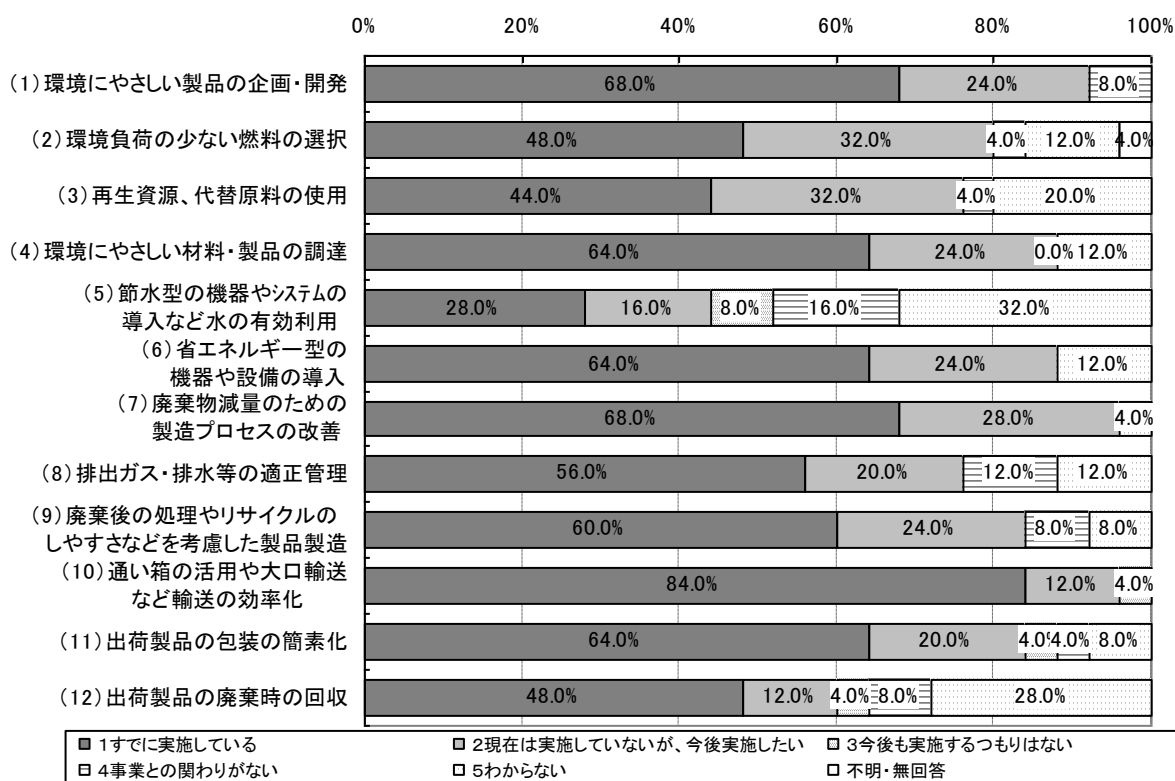
なお、「エコマーク製品の優先的な購入」については、「すでに実施している」が 56.4%となっているが、「現在は実施していないが、今後実施したい」が 30.8%となっており、今後の取組みが期待される。

問3 貴事業所では、事業に直接関わる環境保全活動として、どのようなことを実施していますか。
以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

(S A)

◆製造業

N=25

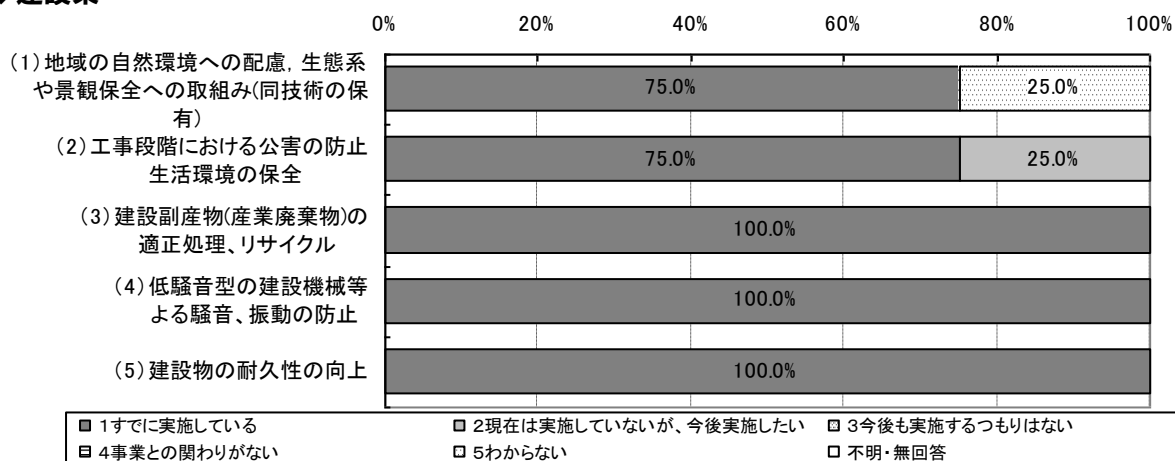


「すでに実施している」について、「通い箱の活用や大口輸送など、輸送の効率化」が84.0%と最も多くなっており、次いで「環境にやさしい製品の企画・開発」、「廃棄物減量のための製造プロセスの改善」が68.0%、「環境にやさしい材料・製品の調達」、「省エネルギー型の機器や設備の導入」、「出荷製品の包装の簡素化」が64.0%となっている。

また、「現在は実施していないが、今後実施したい」については、「環境負荷の少ない燃料の選択」、「再生資源、代替原料の使用」が32.0%、「廃棄物減量のための製造プロセスの改善」が28.0%となっている。

◆建設業

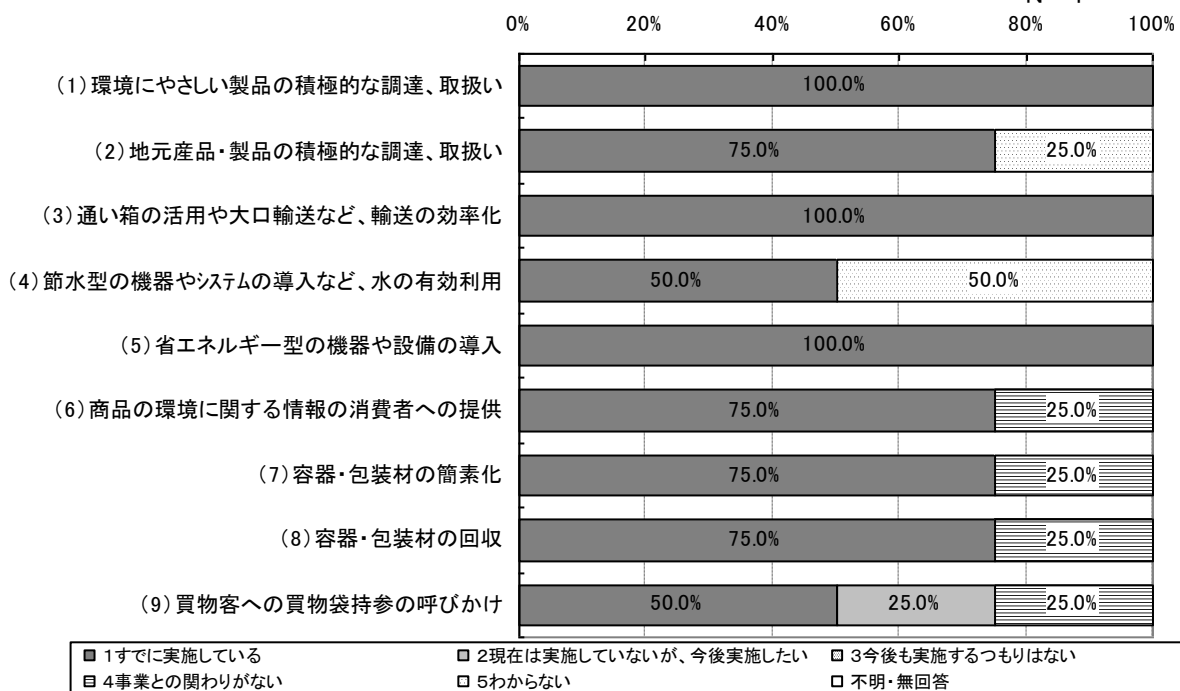
(S A)
N=4



「すでに実施している」について、「建設副産物(産業廃棄物)の適正処理、リサイクル」、「低騒音型の建設機械等による騒音、振動の防止」、「建設物の耐久性の向上」は全ての事業所で取り組まれている。

◆小売業、卸売業、飲食業

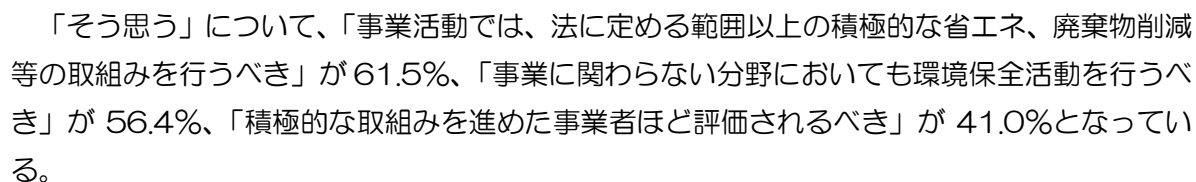
(S A)
N=4



「すでに実施している」について、「建通い箱の活用や大口輸送など、輸送の効率化」、「省エネルギー型の機器や設備の導入」は全ての事業所で取り組まれている。

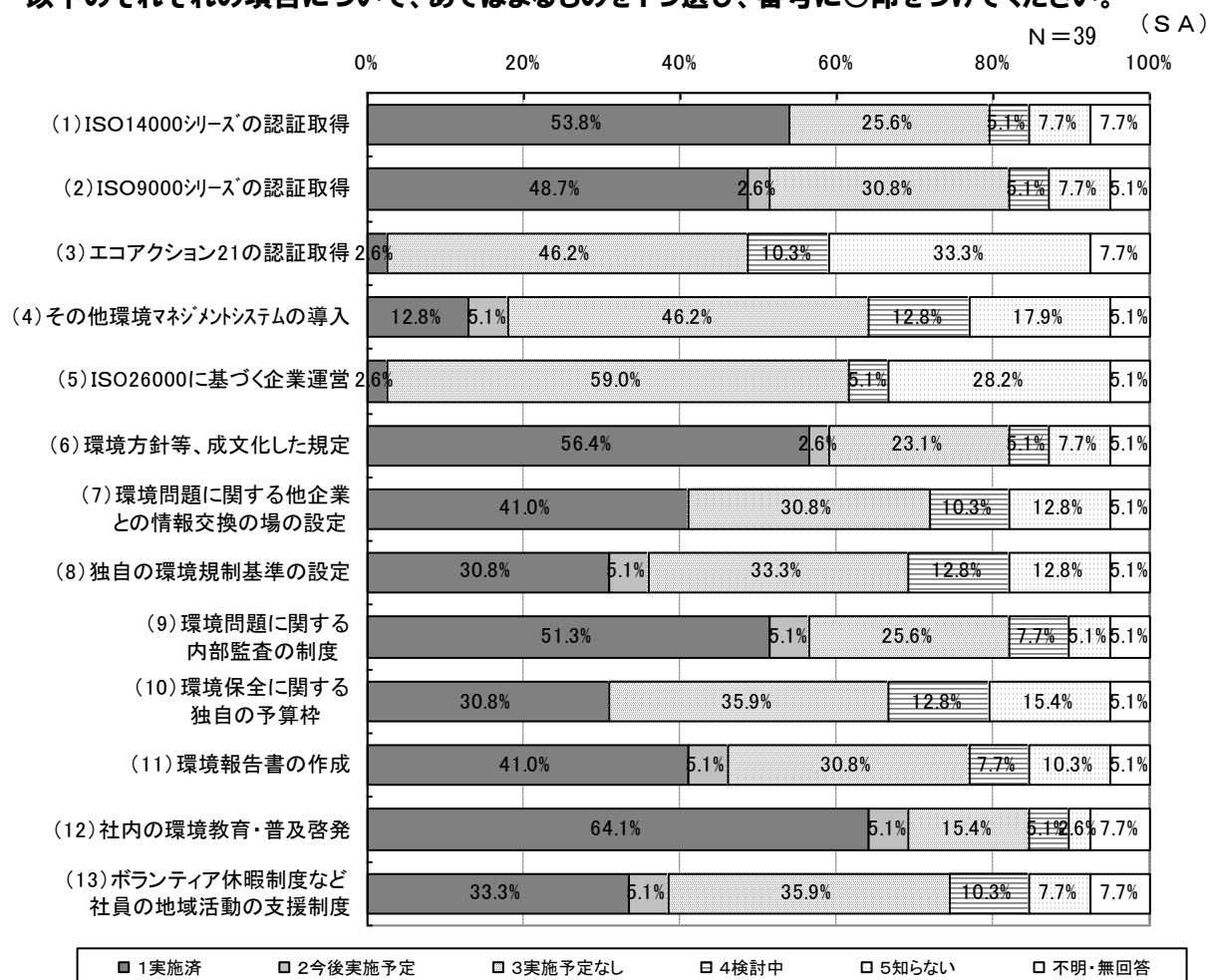
以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

N = 39



10

問5 貴事業所の環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度等についておたずねします。
以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。



「実施済」について、「社内の環境教育・普及啓発」が64.1%と最も多く、次いで「環境方針等、成文化した規定」56.4%、「ISO14000シリーズの認証取得」53.8%、「環境問題に関する内部監査の制度」51.3%と半数を超えている。「ISO9000シリーズの認証取得」についても48.7%と半数近くの事業所で取組んでいる。

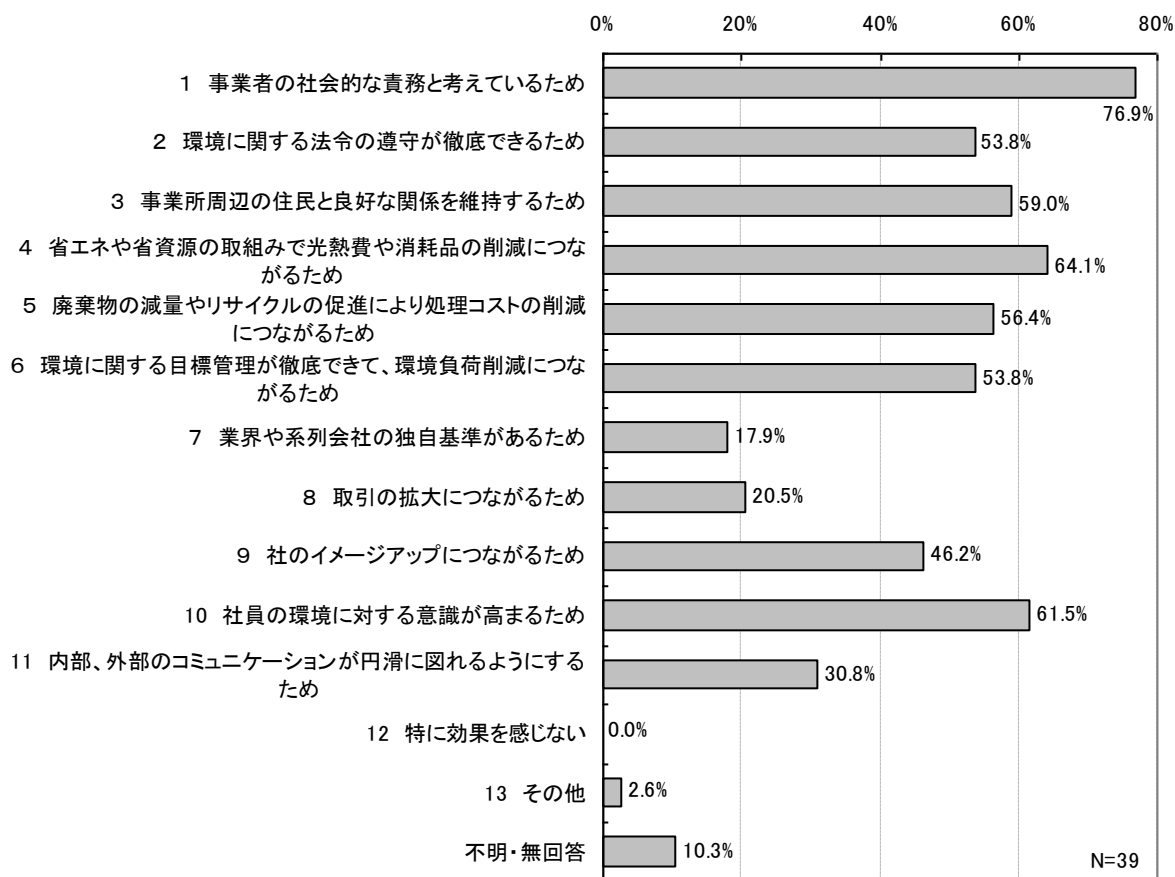
「今後実施予定」については、いずれも回答率が低く、「その他環境マネジメントシステムの導入」、「独自の環境規制基準の設定」などをはじめ、すべての項目で約5%以下の回答率となっている。

「実施予定なし」については、「ISO26000に基づく企業運営」が59.0%、「エコアクション21の認証取得」、「その他環境マネジメントシステムの導入」が46.2%となっている他、「環境保全に関する独自の予算枠」、「ボランティア休暇制度など社員の地域活動の支援制度」も35.9%と40%近い回答となっている。

問6 環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度に取り組む理由についてどのようにお考えですか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

(MA)

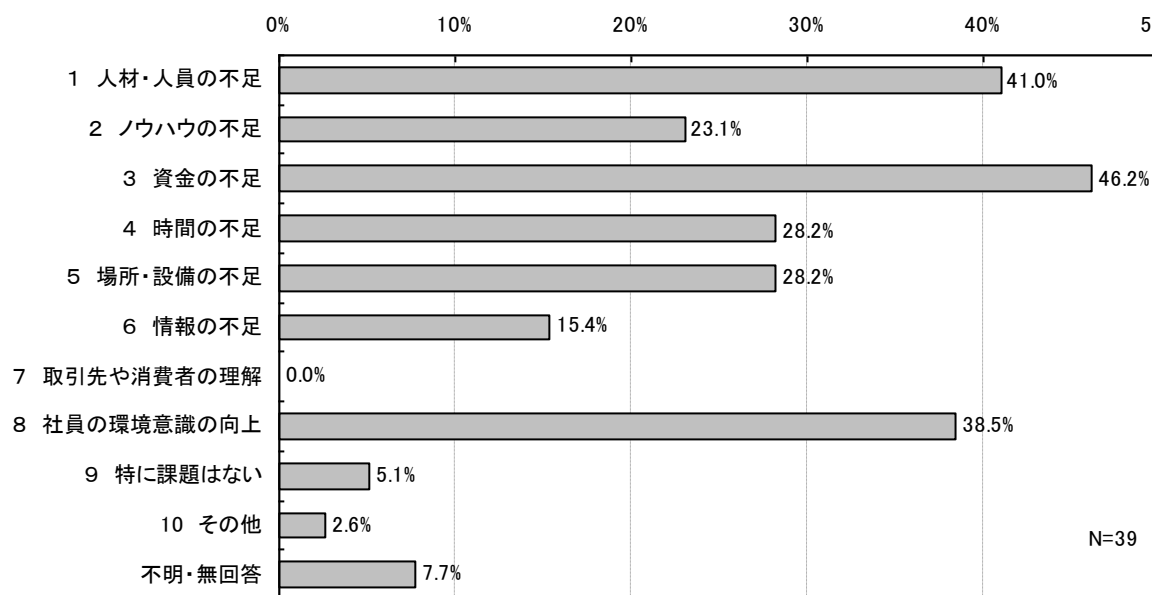


「事業者の社会的な責務と考えているため」が76.9%と最も多く、次いで、「省エネや省資源の取組みで光熱費や消耗品の削減につながるため」64.1%、「社員の環境に対する意識が高まるため」が61.5%と60%を超える回答となっている。

「事業所周辺の住民と良好な関係を維持するため」、「廃棄物の減量やリサイクルの促進により処理コストの削減につながるため」についても、それぞれ59.0%、56.4%と60%近い回答となっている。

**問7 貴事業所が、今後環境への取組みを進めるにあたって、課題となることは何ですか。
あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。**

(MA)



「資金の不足」が46.2%と最も多く、次いで「人材・人員の不足」41.0%、「社員の環境意識の向上」が38.5%と続いており、経済面、人材や意識の面を課題に挙げる事業所が多くなっている。

問8 貴事業所ではCSR※の観点から、地域の環境づくり活動に対してどのような取組みを実施していますか。

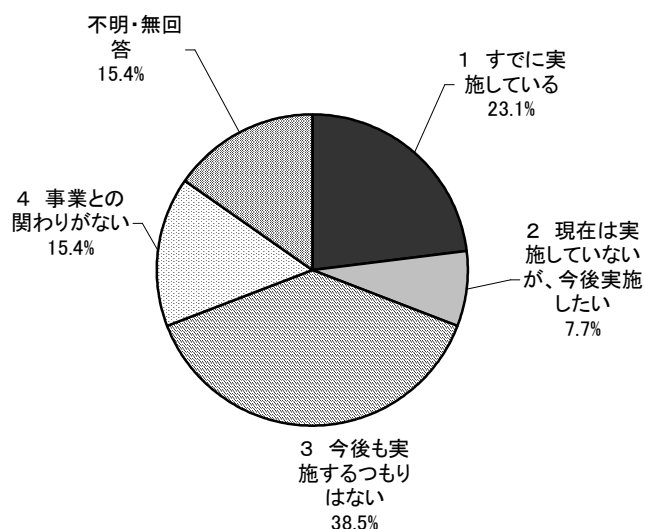
以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。また、「すでに実施している」「現在は実施していないが、今後は実施したい」を選ばれた場合、具体的な活動についてご記入ください。

※ CSR…企業の社会的責任。企業は、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、利害関係者全員の利益を考えて行動するべきであり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方に基づくもの。

(1) 資金援助や場所・マンパワーの提供を行っている

(S A)

N=39



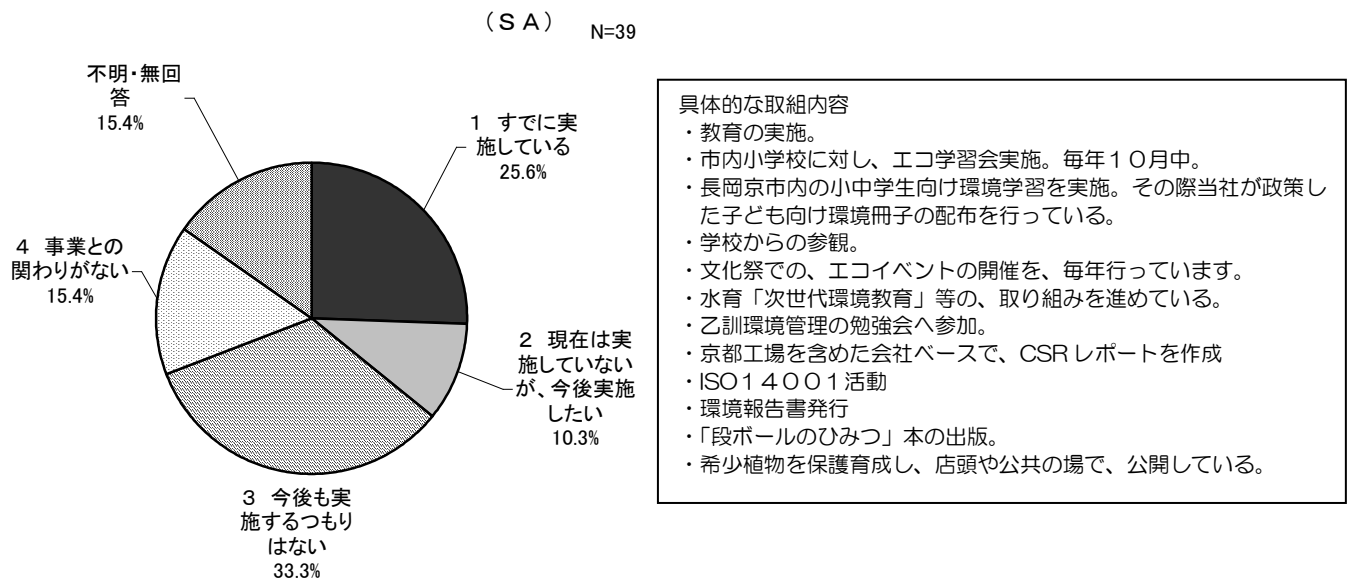
具体的な取組内容

- ・長岡京市の各種催し物に工場として参加。
- ・環境フェアへの参加。
- ・バンビオサマーナイトカフェに出展しています。地域での夕涼みの復活に協力。
- ・長岡京市環境の都づくり主催「すくすく教室」にて当社長岡事業所ピオトープの場を提供。
- ・長岡京市環境フェスタの駐車場として長岡事業所を提供。
- ・当工場の環境保全活動の取組を、エコツアー等にして、説明・見学を実施している。
- ・環境に関する工場見学の受け入れ。
- ・工場内の桜並木を、一般開放している（春季）。
- ・「緑の募金」による、緑化事業への参加。
- ・社会貢献預金を通じての寄付活動。
- ・低公害車への車のローンの金利優遇。
- ・クリーンエネルギー設置の住宅ローンの金利優遇。

「すでに実施している」が23.1%となっており、「現在は実施していないが、今後実施したい」が7.7%となっている。

具体的な活動内容として、催し物への参加や事業所スペースの提供や見学の受け入れ、ローンの金利優遇などが取り組まれている。

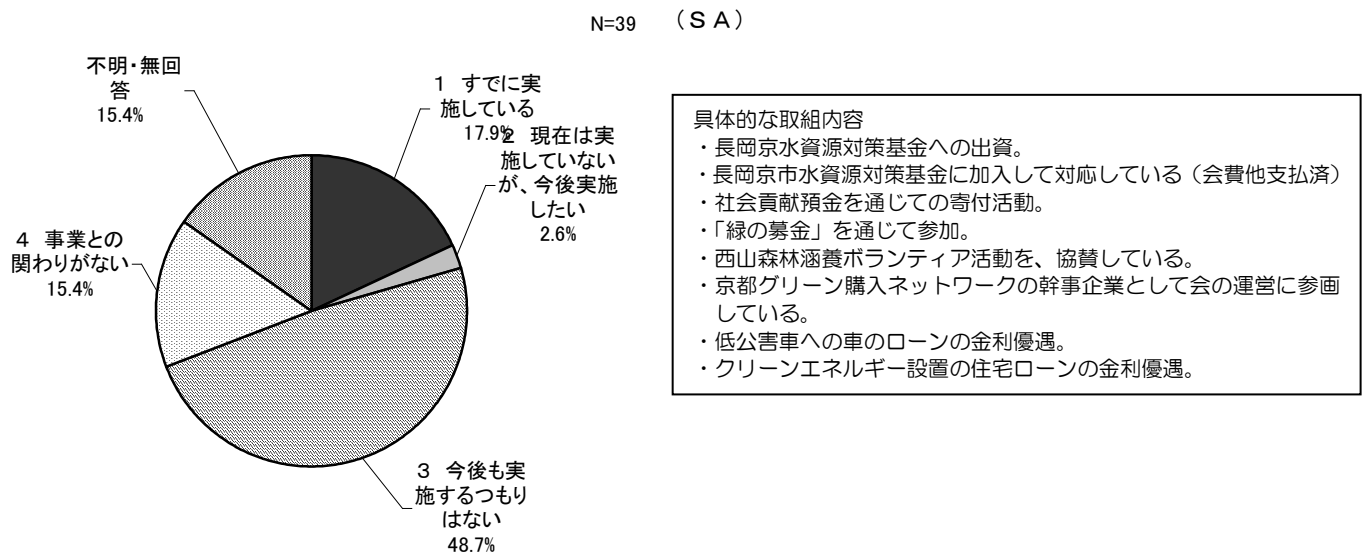
(2)環境キャンペーンや学習会、イベントの開催、パンフレットの作成など、普及啓発を行っている



「すでに実施している」が25.6%となっており、「現在は実施していないが、今後実施したい」が10.3%となっている。

具体的な活動内容として、子どもを対象とした環境学習への参画、環境報告書の作成や環境に関連する独自の出版物の発行等が取り組まれている。

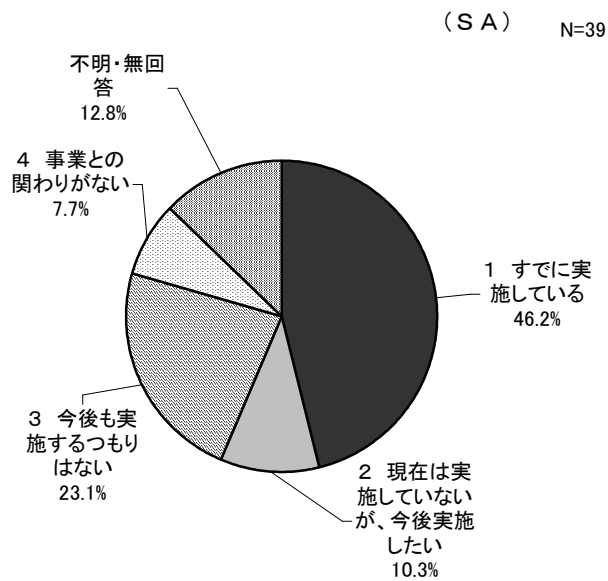
(3)環境関連の基金や団体の設立運営や既存基金への出資などを行っている



「すでに実施している」が17.9%となっており、「現在は実施していないが、今後実施したい」が2.6%となっている。

具体的な活動内容として、長岡京市水資源対策基金への出資や環境活動への協賛、グリーン購入ネットワークの運営への参画などが取り組まれている。

(4)従業員による地域清掃活動や事業所内の緑化など主体的に独自の活動を行っている



「すでに実施している」が46.2%となっており、「現在は実施していないが、今後実施したい」が10.3%となっている。

具体的な活動内容として、530運動への参画や事業所周辺や地域の清掃活動、事業所敷地内の緑化等が取り組まれている。

具体的な取組内容

- ・清掃
- ・公共区域での清掃等
- ・地域清掃
- ・月に1回、事業所の周りを、清掃している
- ・工場独自による地域との共生において、周辺、小畑川等のゴミ拾い（清掃）活動を、毎年定期的を実施している。
- ・敷地周辺生活道路のゴミ拾い。
- ・地域の清掃活動
- ・工場外周の清掃活動
- ・事業所周辺のゴミ拾い
- ・月1回従業員ボランティア活動として当社近隣の清掃を実施している（なお定時後に行っているため、日没の早いシーズンは実施していない）
- ・定期的に工場周辺道路の清掃活動を実施している（京都工場、滋賀工場共）
- ・淀川クリーンキャンペーン
- ・530運動等
- ・市内530運動への参加。緑化専門委員会を設けて、活動している。
- ・長岡京市530運動への参加。
- ・530運動実施
- ・事業所内の緑化
- ・事業所内の緑化に取り組んでいる
- ・事業所敷地内の緑化
- ・ボランティア（外部）による花壇整備。
- ・本館事務棟建設時に建物周辺及び屋上緑化対応とした。
- ・当財団所有竹林の整備を、ボランティア（外部）にお願いして行っています。
- ・「緑の募金」による、緑化事業への参加
- ・希少植物の自生地の環境整備
- ・ソーラーパネル設置
- ・各支店で地域での取り組み実施を、2つ以上する様にしている。

(5)その他独自の取組みについて

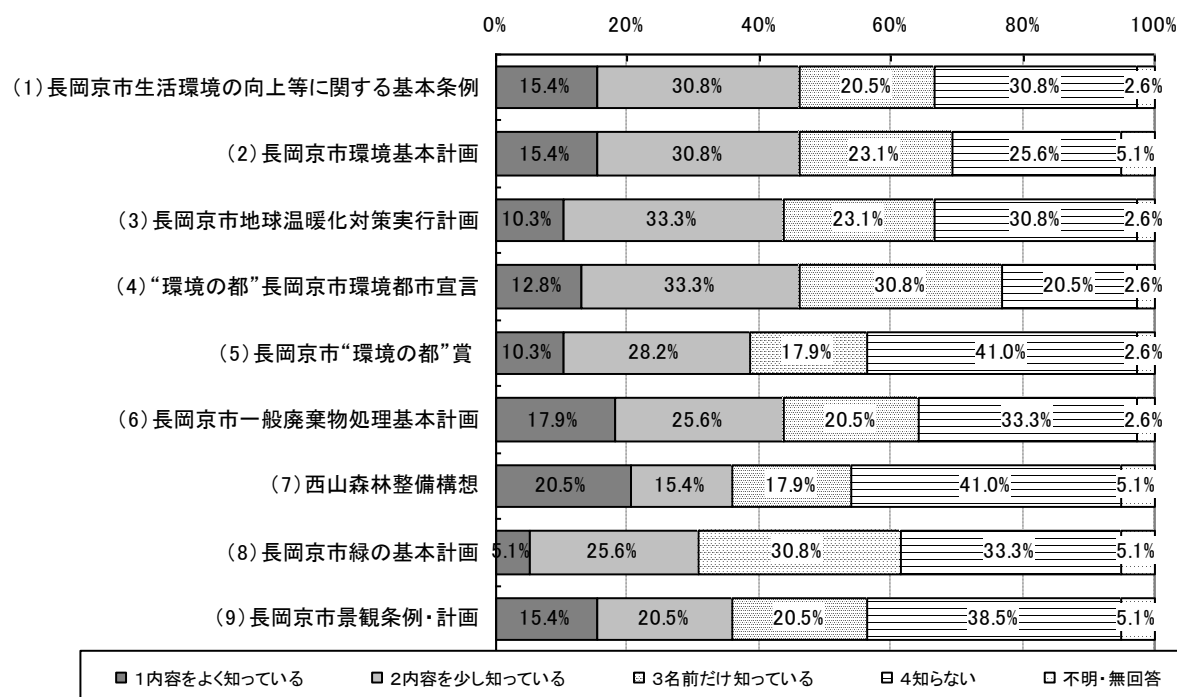
その他の取組みについて、イベントへの参加や森林保全活動、パトロール活動等に取組んでいる状況がみられる。

具体的な取組内容

- ・京都府主催、京都環境フェスティバルに初回より出展し、工場の環境保全活動の取組を紹介している。
- ・当財団文化祭（毎年11月23日）にて、毎年一般来場者を対象とした、エコ活動啓蒙ブースを、長岡京市の協力を得て、設け取り組んでいます。
- ・森林保全活動を亀岡市にて年8回開催。
- ・西山竹林・森林エリアの定期清掃活動に毎年積極的に参加しています。
- ・敷地境界に於ける、自主パトロール

問9 長岡京市の環境政策や環境活動について、具体的な計画の内容や取組みについてご存知ですか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

N=39 (S A)



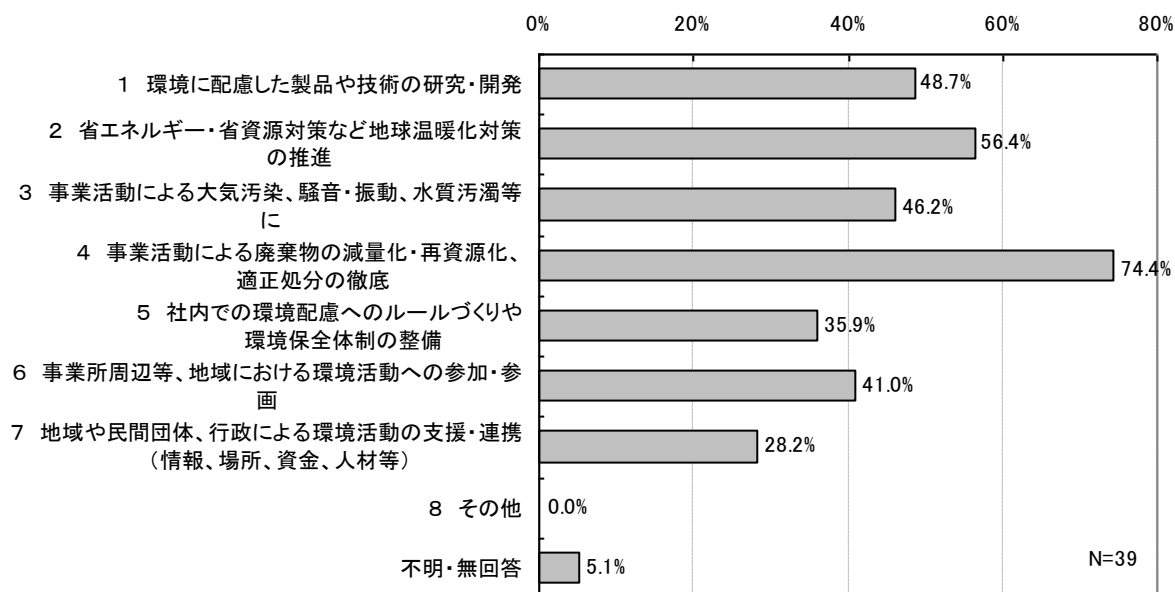
「長岡京市環境基本計画」について、「内容をよく知っている」が15.4%、「内容を少し知っている」が30.8%、「名前だけ知っている」が23.1%、「知らない」が25.6%となっている。

その他の政策や環境活動についても、回答率に大きな差はみられないが、「西山森林整備構想」について、「内容をよく知っている」が20.5%、なっており、西山の森林保全等に関わりや関心のある事業所が多くなっていることが推察される。

問10 長岡京市の環境をよりよくしていくため、事業所・市民・行政がそれぞれの役割を果たし、連携していくことが大切ですが、環境づくりを進めていくため、事業者はどのようなことに取り組むべきとお考えですか。

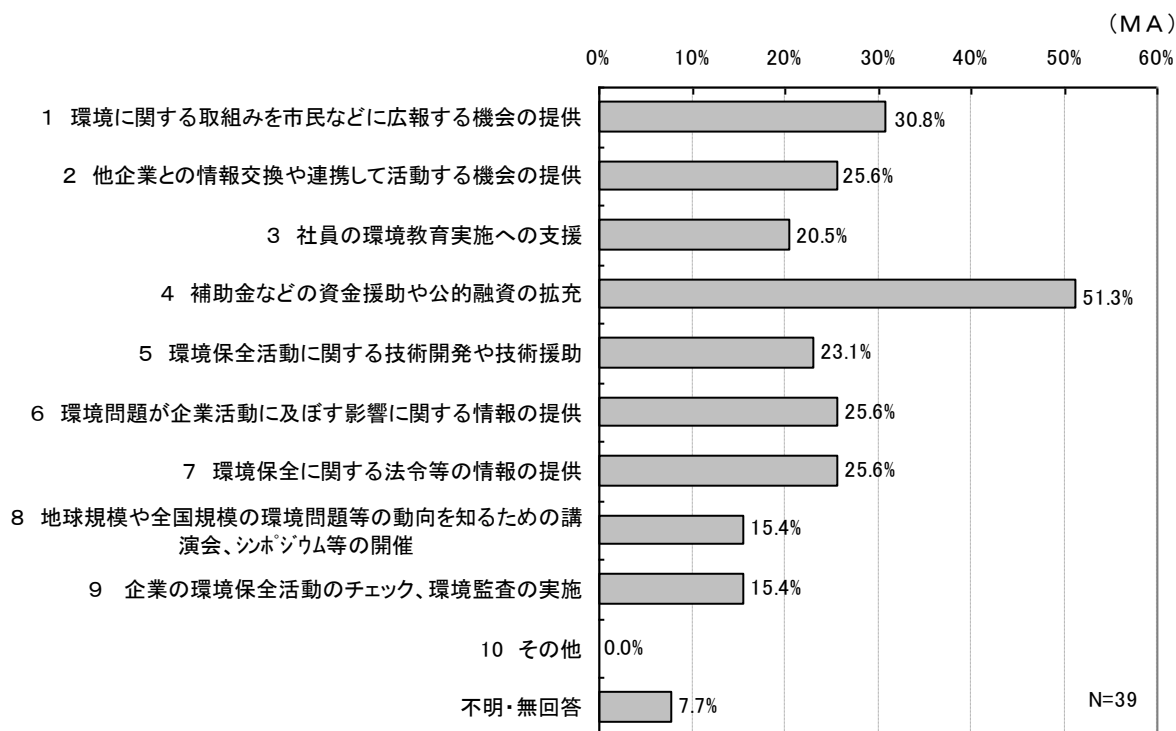
あてはまるものすべて選び、番号に○印をつけてください。

(MA)



「事業活動による廃棄物の減量化・再資源化、適正処分の徹底」が74.4%と最も多くなっており、次いで「省エネルギー・省資源対策など地球温暖化対策の推進」56.4%、「環境に配慮した製品や技術の研究・開発」48.7%、「事業活動による大気汚染、騒音・振動、水質汚濁等に対する公害防止策の徹底」46.2%と続いている。

問11 貴事業所が環境に関する活動を効果的、効率的に実施していくために、国、県、市などの支援策として何が必要ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。



「補助金などの資金援助や公的融資の拡充」が51.3%と半数を超えて最も多くなっている。その他の回答については、概ね20～30%前後の回答となっており、多様なニーズが示されている。

問 12 長岡京市では、西山を活かした環境活動など、地域の資源や人材を活かした環境のまちづくりを推進していこうと考えておりますが、貴事業所では、今後、どのような関わりができると思われますか。具体的な内容をご記入ください。

【森林保全に関する活動】

- ・西山森林涵養ボランティア活動等を通して、環境保全の大切さを、更に深めてもらえる事が出来ると感じる。
- ・西山森林ボランティアへの参加。
- ・現在も参加している西山竹林、森林整備活動（清掃他）にボランティア活動の一環として、今後も積極的に参加していく予定です。また、その他環境活動についても、できる限り参加させていただきます。（継続的な対応も含めて）
- ・放置竹林の再生を図る。伐採して広葉樹の植樹の推進。第二外環状道路の開通による、二酸化炭素（排気ガス）の増量に依る、西山の変化に注目し、対策も考えておくべきかも。
- ・西山金ヶ原地区に竹林を所有しています。一時、放置状態になっていたが、近年ボランティア団体に整備を依頼し、竹の間引き、歩道の整備を行っています。数年かけて整備を行い、景観の向上、環境への配慮に継続して取り組んでいます。
- ・放置竹林の整理材で出た竹を、竹炭に加工、官・民一体で取り組み、長岡京のブランド炭として全国に発信する。
- ・財団法人長岡京水資源対策基金に評議員として参画し、西山の有効活用に意見を発している

【イベントへの参画等】

- ・長岡京市環境フェアに出展するなど、積極的に地域との関係を、構築している
- ・環境活動イベントへの参加、資材等の提供。
- ・活動への参加案内等。

【その他】

- ・資源ゴミの削減。ペットボトル・空カン・トレー・牛乳パック・発泡スチロールなど、リサイクル可能廃材の積極的回収
- ・敷地内の緑化・花いっぱい運動を展開しています。施設ご利用者様・訪問者・近隣の方・市長に、緑と花を楽しんでもらい、長岡京市の環境街作りに協力していこうと思います。
- ・事業内容のポスター掲示
- ・市の要請事項に対する対応。
- ・人的な環境活動は難しいが、入居者と散策等で、利用させて欲しい
- ・本事業所は、地域のお客様と密接に関わる業務を行っておりません。その為、社内的な環境の取組について、推進しているところです。

問13 環境問題に関して、日頃お感じになっていることがございましたら、ご意見・ご提案など、自由にご記入ください。

- ・一度失われた自然を取り戻す事の大変さと大切さを、今回の環境フェアで学んだ。（西山について）街の活性化と自然との共存を考えて行く事の、重要性を感じた
- ・緑の豊かな子育てにとっても環境の良い地域として、長岡京市に転居してきました。今の状態を継続させる為にも、小さなパワーですが、応援したいと思います。
- ・限りある資源に対して、リサイクル、リユースを活用していくことが今後さらに求められると感じています。
- ・当事業所は、医療・介護福祉に関わっています。患者様・御利用者様の安全衛生・生活環境を損なうことなく、省エネを実行する難しさを、日頃感じています。職員一人一人の環境意識を高める事が、成果を上げる近道であると考えています。そのため職員の環境教育・環境方針等成文化した規定を、検討中です。現在、関電の節電要請で、クリスマス照明の中止、屋内外証明間引き・消灯徹底・エレベーター停止・バックヤードの暖房節約等行っていますが、それ以上はリスクを伴うので行っていません。今後、患者様・御利用者様に負担をかけないきめ細かな省エネを、じっくり安全運転で実施していく所存です。ご指導頂ければ、幸いです。

3 調査票

長岡京市の環境づくりのための事業者アンケート調査 御協力をお願い

平成23年12月
長岡京市長 小田 豊

拝啓

初冬の候 ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

貴事業所の皆様には、日頃から環境行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、長岡京市では、平成13年に「長岡京市環境基本計画」を策定し、環境行政を総合的・計画的に進めてきており、平成21年4月には“環境の都”長岡京市環境都市宣言を行い、未来の子どもたちが心の安らぎと豊かさを得られる“環境の都”長岡京の実現に向けた取組みを進めているところです。

一方、昨今の地球温暖化問題など、地球環境を取り巻く状況に大きな変化がみられ、自然と共生する持続可能な社会づくりを進めていくことが急務となっています。

そこで、このたび「長岡京市環境基本計画」の見直しを行い、長岡京市の新たな環境施策について検討することいたしました。

このアンケート調査は、事業者の皆様から、環境に関する日頃の活動状況や御意見等をお聞かせいただき、よりよい計画づくりの基礎的な資料として活用させていただくことを目的に実施するものです。

御多忙の折とは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

■調査票への御記入にあたって

- ・貴事業所のことについて御回答ください。
- ・御回答は、代表者の方や環境に関する担当セクション、総務担当の方をお願いいたします。
- ・調査結果は、統計処理した上で市の環境行政推進の目的のみに使用するもので、特定の事業所名が公表されることはございません。
- ・御記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れ、**平成23年12月16日(金)までに郵便ポストに投函してください。**(切手は予め返信用封筒に貼り付けています)

ご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

長岡京市環境経済部 環境政策監 計画調整担当： ^{たなべ}田邊
電話：075-955-9564 FAX：075-951-5410
e-mail：kankyouseisakukan@city.nagaokakyo.kyoto.jp

(続き)

	すでに実施 している	現在は実施 していない が、今後実 施したい	今後も実施 するつもりは ない	事業との関 わりがない	わからない
(8) 自転車や公共交通機関による通勤 の勧奨	1	2	3	4	5
(9) 低公害車・低燃費車の導入	1	2	3	4	5
(10) 業務用車両におけるアイドリングストップ など、エコドライブの勧奨	1	2	3	4	5
(11) 省エネ診断、ESCO 事業等の導入	1	2	3	4	5
(12) 自家発電装置の導入	1	2	3	4	5
(13) クール・ビズ、ウォーム・ビズの 奨励	1	2	3	4	5
(14) 地球温暖化防止運動（チームマイ ナス6%等）への参加	1	2	3	4	5
水に関する取組み					
(15) 雨水の利用や一度使った水の再 利用	1	2	3	4	5
(16) 透水性舗装や浸透ますの設置な ど、雨水の地下浸透の工夫	1	2	3	4	5
(17) 節水の取組みなど、水道水の節約	1	2	3	4	5
廃棄物・リサイクルに関する取組み					
(18) ミスコピーの裏面利用	1	2	3	4	5
(19) コピー用紙や封筒への再生紙の 使用	1	2	3	4	5
(20) 社内便などへの使用済み封筒の 再利用	1	2	3	4	5
(21) 詰替え可能製品の利用勧奨や、使 い捨て製品の使用や購入の抑制	1	2	3	4	5
(22) 備品の修理による長期使用	1	2	3	4	5
(23) エコマーク製品の優先的な購入	1	2	3	4	5
(24) 紙（段ボールや OA 用紙等）の分 別収集・資源化	1	2	3	4	5
(25) カン・ビン等の分別収集・資源化	1	2	3	4	5

以下は、貴事業所が該当する業種の設問をお答えください

問3 貴事業所では、事業に直接関わる環境保全活動として、どのようなことを実施していますか。
以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

製造業	すでに実施 している	現在は実施 していない が、今後実 施したい	今後も実施 するつもりは ない	事業との関 わりがない	わからない
(1) 環境にやさしい製品の企画・開発	1	2	3	4	5

続く

(続き)

製造業	すでに実施している	現在は実施していないが、今後実施したい	今後も実施するつもりはない	事業との関わりがない	わからない
(2)環境負荷の少ない燃料の選択	1	2	3	4	5
(3)再生資源、代替原料の使用	1	2	3	4	5
(4)環境にやさしい材料・製品の調達	1	2	3	4	5
(5)節水型の機器やシステムの導入など水の有効利用	1	2	3	4	5
(6)省エネルギー型の機器や設備の導入	1	2	3	4	5
(7)廃棄物減量のための製造プロセスの改善	1	2	3	4	5
(8)排出ガス・排水等の適正管理	1	2	3	4	5
(9)廃棄後の処理やリサイクルのしやすさなどを考慮した製品製造	1	2	3	4	5
(10)通い箱の活用や大口輸送など、輸送の効率化	1	2	3	4	5
(11)出荷製品の包装の簡素化	1	2	3	4	5
(12)出荷製品の廃棄時の回収	1	2	3	4	5
上記以外に特徴ある環境保全活動があれば、具体的にご記入ください。					

建設業	すでに実施している	現在は実施していないが、今後実施したい	今後も実施するつもりはない	事業との関わりがない	わからない
(1)地域の自然環境への配慮、生態系や景観保全への取組み(同技術の保有)	1	2	3	4	5
(2)工事段階における公害の防止、生活環境の保全	1	2	3	4	5
(3)建設副産物(産業廃棄物)の適正処理、リサイクル	1	2	3	4	5
(4)低騒音型の建設機械等による騒音、振動の防止	1	2	3	4	5
(5)建設物の耐久性の向上	1	2	3	4	5
上記以外に特徴ある環境保全活動があれば、具体的にご記入ください。					

小売業、卸売業、飲食業	すでに実施している	現在は実施していないが、今後実施したい	今後も実施するつもりはない	事業との関わりがない	わからない
(1)環境にやさしい製品の積極的な調達、取扱い	1	2	3	4	5
(2)地元産品・製品の積極的な調達、取扱い	1	2	3	4	5
(3)通い箱の活用や大口輸送など、輸送の効率化	1	2	3	4	5
(4)節水型の機器やシステムの導入など、水の有効利用	1	2	3	4	5
(5)省エネルギー型の機器や設備の導入	1	2	3	4	5
(6)商品の環境に関する情報の消費者への提供	1	2	3	4	5
(7)容器・包装材の簡素化	1	2	3	4	5
(8)容器・包装材の回収	1	2	3	4	5
(9)買物客への買物袋持参の呼びかけ	1	2	3	4	5
上記以外に特徴ある環境保全活動があれば、具体的に記入ください。					

以下の設問から、すべての事業者がお答えください

問4 地球環境保全に対して、貴事業所の考え方についておたずねします。
以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「地球環境保全のため…」 	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
(1)事業活動では、法に定める範囲以上の積極的な省エネ、廃棄物削減等の取組みを行うべき	1	2	3	4	5
(2)事業に関わらない分野においても環境保全活動を行うべき	1	2	3	4	5
(3)人的・金銭的負担は惜しまない	1	2	3	4	5
(4)積極的な取組みを進めた事業者ほど評価されるべき	1	2	3	4	5
(5)製品の価格が高くなるのもやむを得ない	1	2	3	4	5
(6)必要であれば環境税等新しい税金が導入されるのもやむを得ない	1	2	3	4	5

環境に関する経営や管理手法についておたずねします

問5 貴事業所の環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度等についておたずねします。
以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

	実施済	今後実施 予定	実施予定 なし	検討中	知らない
(1) ISO14000 システムの認証取得	1	2	3	4	5
(2) ISO9000 システムの認証取得	1	2	3	4	5
(3) エコアクション 21 の認証取得	1	2	3	4	5
(4) その他環境マネジメントシステムの導入	1	2	3	4	5
(5) ISO26000 に基づく企業運営	1	2	3	4	5
(6) 環境方針等、成文化した規定	1	2	3	4	5
(7) 環境問題に関する他企業との情報 交換の場の設定	1	2	3	4	5
(8) 独自の環境規制基準の設定	1	2	3	4	5
(9) 環境問題に関する内部監査の制度	1	2	3	4	5
(10) 環境保全に関する独自の予算枠	1	2	3	4	5
(11) 環境報告書の作成	1	2	3	4	5
(12) 社内の環境教育・普及啓発	1	2	3	4	5
(13) ボランティア休暇制度など社員 の地域活動の支援制度	1	2	3	4	5

問6 環境マネジメントシステムや環境に関する社内制度に取り組む理由についてどのようにお考えですか。

あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 事業者の社会的な責務と考えているため 2. 環境に関する法令の遵守が徹底できるため 3. 事業所周辺の住民と良好な関係を維持するため 4. 省エネや省資源の取組みで光熱費や消耗品の削減につながるため 5. 廃棄物の減量やリサイクルの促進により処理コストの削減につながるため 6. 環境に関する目標管理が徹底できて、環境負荷削減につながるため 7. 業界や系列会社の独自基準があるため 8. 取引の拡大につながるため 9. 社のイメージアップにつながるため 10. 社員の環境に対する意識が高まるため 11. 内部、外部のコミュニケーションが円滑に図れるようにするため 12. 特に効果を感じない 13. その他 ()
--

問7 貴事業所が、今後環境への取組みを進めるにあたって、課題となることは何ですか。
 あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 人材・人員の不足	2. ノウハウの不足
3. 資金の不足	4. 時間の不足
5. 場所・設備の不足	6. 情報の不足
7. 取引先や消費者の理解	8. 社員の環境意識の向上
9. 特に課題はない	10. その他()

問8 貴事業所では CSR*の観点から、地域の環境づくり活動に対してどのような取組みを実施していますか。

以下のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。
 また、「すでに実施している」「現在は実施していないが、今後は実施したい」を選ばれた場合、
 具体的な活動についてご記入ください。

※ CSR…企業の社会的責任。企業は、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、利害関係者全員の利益を考えて行動するべきであり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方に基づくもの。

	すでに実施している	現在は実施していないが、今後実施したい	今後も実施するつもりはない	事業との関わりがない
	1	2	3	4
(1) 資金援助や場所・マンパワーの提供を行っている	▼	▼		
(2) 環境キャンペーンや学習会、イベントの開催、パンフレットの作成など、普及啓発を行っている	▼	▼		
(3) 環境関連の基金や団体の設立運営や既存基金への出資などを行っている	▼	▼		
(4) 従業員による地域清掃活動や事業所内の緑化など主体的に独自の活動を行っている	▼	▼		
(5) その他独自の取組みについて →上記以外に、地域環境に貢献する活動等に取り組まれていれば、ご記入ください				

長岡京市の環境政策や、環境づくりに向けた事業者の役割や支援についておたずねします

問9 長岡京市の環境政策や環境活動について、具体的な計画の内容や取組みについてご存知ですか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

	内容をよく知っている	内容を少し知っている	名前だけ知っている	知らない
(1)長岡京市生活環境の向上等に関する基本条例	1	2	3	4
(2)長岡京市環境基本計画	1	2	3	4
(3)長岡京市地球温暖化対策実行計画	1	2	3	4
(4)“環境の都”長岡京市環境都市宣言	1	2	3	4
(5)長岡京市“環境の都”賞	1	2	3	4
(6)長岡京市一般廃棄物処理基本計画	1	2	3	4
(7)西山森林整備構想	1	2	3	4
(8)長岡京市緑の基本計画	1	2	3	4
(9)長岡京市景観条例・計画	1	2	3	4

問10 長岡京市の環境をよりよくしていくため、事業所・市民・行政がそれぞれの役割を果たし、連携していくことが大切ですが、環境づくりを進めていくため、事業者はどのようなことに取り組むべきとお考えですか。

あてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

1. 環境に配慮した製品や技術の研究・開発
2. 省エネルギー・省資源対策など地球温暖化対策の推進
3. 事業活動による大気汚染、騒音・振動、水質汚濁等に対する公害防止策の徹底
4. 事業活動による廃棄物の減量化・再資源化、適正処分の徹底
5. 社内での環境配慮へのルールづくりや環境保全体制の整備
6. 事業所周辺等、地域における環境活動への参加・参画
7. 地域や民間団体、行政による環境活動の支援・連携（情報、場所、資金、人材等）
8. その他（ ）

問11 貴事業所が環境に関する活動を効果的、効率的に実施していくために、国、県、市などの支援策として何が必要ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 環境に関する取組みを市民などに広報する機会の提供
2. 他企業との情報交換や連携して活動する機会の提供
3. 社員の環境教育実施への支援
4. 補助金などの資金援助や公的融資の拡充
5. 環境保全活動に関する技術開発や技術援助
6. 環境問題が企業活動に及ぼす影響に関する情報の提供
7. 環境保全に関する法令等の情報の提供
8. 地球規模や全国規模の環境問題等の動向を知るための講演会、シンポジウム等の開催
9. 企業の環境保全活動のチェック、環境監査の実施
10. その他（ ）

問 12 長岡京市では、西山を活かした環境活動など、地域の資源や人材を活かした環境のまちづくりを推進していこうと考えておりますが、貴事業所では、今後、どのような関わりができると思われますか。具体的な内容をご記入ください。

問 13 環境問題に関して、日頃お感じになっていることがございましたら、ご意見・ご提案など、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒にて、12月16日(金)までにご返送ください。